

使用説明書

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用してください。

動物用医薬品

ディアバスター[®]錠

〔犬猫用止瀉剤〕

本剤は、犬猫の嗜好性が高い素材に5種の有効成分を配合した動物用医薬品です。

本剤は、タンニン酸ベルベリン、次硝酸ピスマス、ゲンノショウコ乾燥エキス、五倍子末、ロートエキス散を配合した製品で、下痢の症状を改善します。本剤は、片面に1/4錠割線のある淡黄褐色の円形錠剤で、小型の高嗜好性タブレットですので、小型の犬や猫にも、容易に投与することができます。

有効成分

1錠(270mg)中
タンニン酸ベルベリン・・・・・・・・・・ 25.0mg
次硝酸ピスマス・・・・・・・・・・ 100.0mg
ゲンノショウコ乾燥エキス・・・・・・・・ 0.4mg
五倍子末・・・・・・・・・・ 5.0mg
ロートエキス散・・・・・・・・・・ 20.0mg

薬効薬理

有効成分	作用機序
タンニン酸ベルベリン	タンニン酸ベルベリンは腸内でベルベリンとタンニン酸に分解されます。ベルベリンが下痢の原因菌に対し殺菌作用を示します。タンニン酸はタンパク質変性作用により、びらんや炎症粘膜における収れん作用や止血作用を示します。
次硝酸ピスマス	収れん作用のほか、組織タンパクと結合して難溶性の皮膜をつくり、粘膜の潰瘍面を保護します。腸内の異常発酵によって生成する硫化水素と結合して、硫化水素ガス刺激による腸運動を抑制して止瀉作用を示します。
ゲンノショウコ乾燥エキス	低用量で十二指腸、小腸の蠕動を抑制し、盲腸においては逆蠕動を促進して止瀉作用を示します。ゲンノショウコ中のタンニンが消化管粘膜に附着し、皮膜を作り、収れん作用を示します。
五倍子末	五倍子末は、ウルシ科塩膚木(ヌルデ)の葉上の角倍を乾燥したもの、あるいは青麩揚の葉上の角倍を乾燥したものでタンニンを多く含みます。タンニンが炎症反応を抑制して組織障害を防ぎ、収れん、止血、抗菌、抗ウイルス、抗真菌、鎮痛作用を示します。
ロートエキス散	ロートエキス散はアトロピン、スコポラミン及びビオスチアミン等のペラドンナアルカロイドを含有し、アセチルコリン作動域である副交感神経節及び神経筋接合部(末端)に作用して抗コリン作用を示します。アトロピンは迷走神経、食物刺激、ガストリンやヒスタミンによる胃酸やペプシンの分泌を抑制します。アトロピンには胃細胞保護効果の他、小腸運動と分泌亢進を抑制します。抗コリン作用のほか、軽度の局所麻酔作用を有するので、鎮静作用があります。

その他本剤は、魚由来ペプチド(タンパク加水分解物)及び酵母エキスを含みます。

用法・用量

1日2回下記の量を経口投与する。

犬	猫
20kg以上 3錠	3kg以上 1錠
5～20kg未満 2錠	1～3kg未満 1/2錠
5kg未満 1錠	1kg未満 1/4錠

1回当たりの投与量(犬)

体重	～<5kg	5～<10kg	10～<20kg	20～<30kg	30～<40kg
投与量	1錠	2錠	2錠	3錠	3錠

1回当たりの投与量(猫)

体重	～<1kg	1～<3kg	3～<6kg	6～9kg
投与量	1/4錠	1/2錠	1錠	1錠

効能・効果

犬猫 下痢における症状改善。腹痛、疝痛。

使用上の注意

《一般的な注意》

- (1) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

《使用者に対する注意》

誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

《犬猫に対する注意》

副作用

本剤の投与により、便秘あるいは排便回数の減少の症状が認められることがある。

《取扱い上の注意》

- (1) 本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。
- (2) 使用済みの包装容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (3) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (4) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。

《保管上の注意》

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

臨床試験

下痢の症状がみられた犬を対象に、本剤を1日2回経口投与した臨床試験を行いました。最終観察日における評価項目の総合改善率は96.8%、完治に至るまでの平均日数は3.88日となり、本剤の有用性が認められました。

また、「ディアバスター錠」に「ピオイムバスター錠¹⁾」を併用することで、さらに高い臨床効果(総合改善率 98.6%、完治までの平均日数 2.75日)が確認されました。

*1 動物用医薬品ピオイムバスター錠(製造販売業者:共立製薬株式会社)
(有胞子性乳酸菌、バンクレアチン配合剤)

改善を示した割合

評価項目	ディアバスター錠 n=21	プラセボ n=25	ディアバスター錠 ピオイムバスター錠併用 n=29
下痢の回数	90.5%	64.0%	100.0% ^{**}
下痢の状態	100.0% [*]	68.0%	100.0% ^{**}
食欲	100.0% [*]	64.0%	96.6% [*]
活動性	95.2%	76.0%	100.0%
総合改善率	96.8% ^{**}	74.4%	98.6% ^{**}

※ P<0.05 ※※ P<0.01

完治に至るまでの平均日数

	ディアバスター錠	プラセボ	ディアバスター錠 ピオイムバスター錠併用
日数	3.88日 \pm 1.17	4.75日 \pm 1.76	2.75日 \pm 0.75 ^{**}

※※ P<0.01

Aya MATSUU, et al., : J. Jpn. Vet. Med. Assoc., 62, 789-795 (2009)

貯法及び有効期間

- 1) 室温保存
- 2) 3年間(使用期限は外箱に表示)

製造販売業者



製造元



開発元

